

北岡自然公園

花岡山の麓に位置する緑豊かな公園には、魅力的な歴史があります。かつては、1642年に細川忠利（1586-1641）を祀るために建立された菩提寺である妙解寺がありましたが、1871年、明治政府の神仏分離令により廃寺となりました。第二次世界大戦中の空襲で破壊されるまで、ここには細川家の家が建っていました。門の片側には、寺の枯山水の跡があります。枯山水では、小石の「海」に浮かぶ島々を大きな岩で表現しています。枯山水は熊本では滅多に見られません。

庭園の南西角には小道の先に石段があり、ここから山を登ると唐門に辿り着きます。階段の下、途中の踊り場、階段の上の開けた場所には、家臣から贈られた石灯籠が計 66 個あります。

門を通り抜けると、3つの霊廟が設けられた長方形の広場があります。祀られているのは左から順に：

- 細川光尚（1619-1650）：細川家 4 代当主。妙解寺を創建。
- 細川忠利（1586-1641）：細川家 3 代当主。光尚の父。
- 千代姫（1597-1649）：忠利の夫人。

多くの大名の妻は、将軍の人質として居住することを義務付けられていた江戸（東京）に埋葬されていました。しかし、徳川秀忠（1579-1632）の養女であった千代姫は、特別に夫と一緒に埋葬されることになりました。

霊廟は 2 つに分かれていて、正面が拝殿、奥が霊屋となっています。各霊廟には大きな五輪塔がありますが、扉が閉まっているので見ることはできません。広場の周囲を取り囲む石碑は、主君が亡くなったときに、許可を得て切腹した家臣のためのものです。忠利には 19 基、光尚には 11 基あります。

丘を登るとまたお墓があります。広場の左手にある門を通り抜けた先は竹林です。